

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路新設改良事業(竹崎1号線)		所管課 【2】	建設課	
			評価者(担当者)	高木俊幸	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり			重点 施策【4】
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備			
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)広域交通ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H21~29 年度予定 : 金額 238,199 千円】				
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法 】				
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業				
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 2 目 3 細目 4				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本路線は、県道(熊本玉名線・玉名植木線)やJR玉名駅などの交通結節点を結ぶ道路として利用されている。また、沿道には様々な農産物集積拠点(JR果樹・トマト出荷場・カントリー)があるため、熊本県では、農産物の流通網整備として位置付け、北牟田地区農免道路(1期~3期)が整備されており、この農免道路と接続する本路線は、地域の広域ネットワーク道路として、早期に整備を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	道路利用者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市道前後では、北牟田地区農免道路が整備されており、本路線と一体的に整備することで円滑な交通体系が確保され、更には農産物の流通道路として広範囲な事業効果が発現でき地域の活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H21 年度~ H29 年度まで】												
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】												
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】												
事務事業の具体的内容 【14】	現在の一車線道路から、2車線道路へ拡幅し、安全かつ円滑な道路として整備する。 延長=700m 幅員=7.0m												
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事務事業を構成する細事業 【15】</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>竹崎1号線社会資本整備総合交付金委託事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>竹崎1号線社会資本整備総合交付金補償事業</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>竹崎1号線社会資本整備総合交付金工事請負事業</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>竹崎1号線社会資本整備総合交付金用地購入事業</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> </tr> </table>	事務事業を構成する細事業 【15】		①	竹崎1号線社会資本整備総合交付金委託事業	②	竹崎1号線社会資本整備総合交付金補償事業	③	竹崎1号線社会資本整備総合交付金工事請負事業	④	竹崎1号線社会資本整備総合交付金用地購入事業	⑤	
事務事業を構成する細事業 【15】													
①	竹崎1号線社会資本整備総合交付金委託事業												
②	竹崎1号線社会資本整備総合交付金補償事業												
③	竹崎1号線社会資本整備総合交付金工事請負事業												
④	竹崎1号線社会資本整備総合交付金用地購入事業												
⑤													

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	— %	22,142	2,940	7,500		123,250
		県支出金	%					
		起債	95 %	16,900	1,800	9,600	16,100	106,100
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		1,167	1,144	606	900	8,849
	【16】 小計		40,209	5,884	17,706	17,000	238,199	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0		
職人 員 の 費	職員人工数		0.45	0.60	0.40	0.40		
	職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424		
	【17】 小計		2,525	3,254	2,170	2,170		
合計			42,734	9,138	19,876	19,170		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 竹崎1号線社会資本整備総合交付金委託事業	測量、設計、調査、試験等の各種委託を行う。	委託件数	件	0	0	0	0
② 竹崎1号線社会資本整備総合交付金補償事業	建物、工作物、立木、営業等の補償を行う。	契約件数	件	2	0	2	2
③ 竹崎1号線社会資本整備総合交付金工事請負事業	本線等の工事を行う。	整備延長メートル数	m	247	25	45	100
④ 竹崎1号線社会資本整備総合交付金用地購入事業	事業に関する用地の取得を行う。	取得面積	m ²	—	—	62.74	—
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 竹崎1号線の整備率	整備済延長/計画延長×100	%	37.0 41.0	44.6 44.6	51.7 45.3	59.6
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	/
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	予算(交付金)配分の減少により目標達成ができなかった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	/
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	/

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	県営事業(農免道路)と一体的な整備を行うことで、利便性の向上に繋がる事業であるため、現状のまま継続とする。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	本路線は、市南部から中心市街地へ繋がる広域交通ネットワークの推進に重要な道路であるため、現状のまま継続する。	評価責任者 松野 政宏
------------------	--	----------------